

内科卒後臨床研修プログラム

I. 研修プログラムの目的及び特徴

このプログラムは厚生労働省の卒後研修要項および千葉大学医学部附属病院の研修プログラムを参考にして、千葉県済生会習志野病院内科が作成したものである。内科学教育関連病院であり、広く内科学を研修できるよう作成した。研修医は各診療グループに所属して、2ヶ月毎にローテイトする。経験目標を達成できるように各診療科の患者を担当医とともに受け持つ。指導医、管理委員会は研修状況を検討し、研修医が内科領域の到達目標の大半を達成することを目指すよう努める。

II. 研修プログラム責任者

プログラム責任者：藤原敏正

III. 内科研修指導医

消化器科：阿部径和、田中耕太郎、平井 太

循環器科：小林智、山本 豊、坂本直哉、白石博一、中尾元栄、横山健一

リウマチ膠原病アレルギー科：縄田泰史

糖尿病・代謝・内分泌内科：藤原敏正

血液内科：藤川一寿、趙 竜桓

呼吸器内科：黒田文伸

IV. 研修プログラムの管理運営

研修医に対する教育、評価は、研修期間中指導医によっておこわれる。

V. 募集定員 2名

VI. 教育課程

1. 研修開始年度：平成25年4月1日
2. 具体的研修カリキュラムは以下の各診療単位のカリキュラムを参照のこと。

VII. 評価方法

1. 研修医は、研修終了日に研修内容についての発表をおこなう。
2. 指導医及び研修管理委員会により、各到達度目標に対する評価、総合評価が行われる。
3. 研修医は、各到達度目標に対する自己評価表を提出する。